年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（2学年用） 教科　　芸術　　科目 音楽Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　G　組

教科担当者：（A～G組：篠崎　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 音楽ⅡTutti+　　教育出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
読譜をするために必要な楽典基礎を理解し、読譜ができるようになる。 正しい発声で歌唱表現ができる。	楽譜を読み解き、それを音楽表現に生かすことができるとともに、自らの表現意図をもって音楽表現ができる。 創作したリズムを楽譜に書き表し、演奏できる。	音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	ガイダンス 表現（歌唱・器楽）　鑑賞　楽典等	授業内容の説明と確認 読譜をするための基礎	○			○	正しい発声、リズム、音程で歌唱表現ができている。 曲想と音楽を形づくる要素とのかかわりを知覚し、楽曲の良さを味わって鑑賞できている。	○	○	○	4
	ギター奏法基礎 鑑賞	ギター（メロディ演奏） ギター（コード演奏） 演奏発表及び鑑賞		○		○	コードネームを理解している。 ギターを正しい奏法で演奏できている。 自らの表現意図をもって音楽表現ができている。	○	○	○	12
	イタリア歌曲、カンツォーネ 鑑賞 実技テスト	イタリア語の発音と発声について知る。	○			○	イタリア歌曲の特徴を理解し、自らの表現意図をもって音楽表現ができている。	○	○	○	5
	創作	循環コードを使用した作曲 鑑賞			○	○	和音と旋律の関りを理解し、工夫を凝らして作曲ができている。 創作活動に意欲的に取り組んでいる。		○	○	3
2学期	ギター 鑑賞	ギターアンサンブル 演奏発表及び鑑賞		○		○	各パートのはたらきを理解し、全体の響きを大切にしながら器楽表現ができている。 アンサンブルの活動に意欲的に取り組むことができている。		○	○	14
	混声四部合唱 鑑賞	混声四部合唱の充実	○			○	全体の響きを感じながら、正しい発声、リズム、音程で歌唱表現ができている。	○	○		12
3学期	器楽合奏	器楽合奏、編曲		○		○	全体の響きを感じながら、自らの役割を理解し、他者と協働してアンサンブル活動に取り組んでいる。		○	○	10
	創作 楽典基礎	変奏、和音に適したメロディの創作 形式、調、音階、和音			○	○	変奏曲の仕組みや楽典基礎を理解し、創作活動ができている。	○		○	10
											合計 70